

はじめに 従来の“定説”

「長崎の黒い雨の放射能は広範囲で強かったが、広島の高須・己斐の放射能は弱かった」

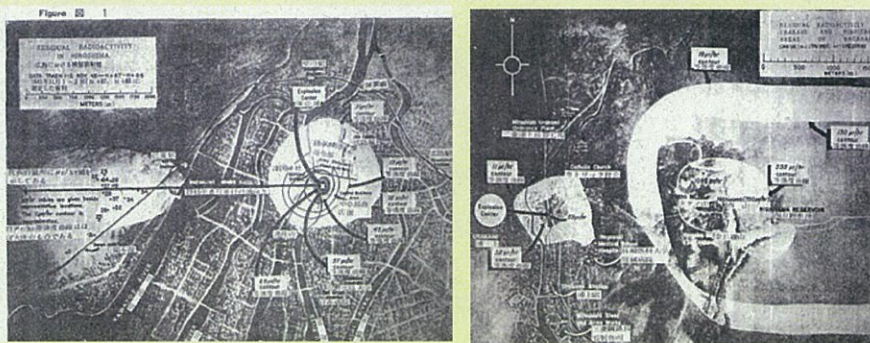
- DS86報告書によると、黒い雨による積算線量は、
 - 長崎の西山地区：200～400 mGy
 - 広島の高須・己斐地区：10～30 mGy

「広島で‘死の灰’を含む黒い雨が降ったのは高須・己斐に限られていた」

3

原爆後の残留放射能測定データ

Pace and Smith, US海軍医学研究所 ABCC TR 28-59
GM管による空間線量率、 $\mu\text{R}/\text{h}$



広島 45年11月1日

長崎 45年10月18日

4